

寄付・物品お礼

期間：令和6年1月1日～4月30日（順不同）

ご厚意に深く感謝し、地域福祉向上のために活用させていただきます。記載の方以外にも匿名にて多くの物品をご寄付いただきました。

ご支援ありがとうございました。

寄付金：三栄製薬株式会社様

他匿名希望者

物 品：JA信州諏訪女性部

原村ブロック・原村支所様

牛山一様 篠原きよ様

島田良子様 時田早紀様

他匿名希望者

食料品／タオル／シーツ／清拭布／下着／マスク／ポータブルトイレ／湯たんぽ
オムツ／リハビリパンツ／雑貨／色鉛筆／パステル／電子レンジ／フォローアップミルク



▲JA信州諏訪女性部原村ブロック・原村支所様より

広げよう夢
育てよう福祉の心



私たちと一緒に働きませんか？あなたの力を待っています！

臨時職員募集中！

- ①デイサービスセンター職員…若干名
- ②ホームヘルパー…若干名

お気軽に
お問い合わせ
ください！

詳しくは 原村社会福祉協議会 ☎0266-79-7228 担当／北原

サマーチャレンジ2024 参加者募集！

都合のよい日に興味のあるボランティア活動を体験できます。

体験後の無理な勧誘はありません。

体験期間は7月20日(土)～9月2日(月)までの内、

原則3日間で、1日のみの参加が可能な活動もあります。

申込〆切 7月3日(水)

活動先一覧▼

対象者 小学生5年生以上の方

性別・職業は問いません

参加費 500円(保険代含む)



サマー
チャレンジ
2024in原村



ボランティア体験

社協だより No.68 令和6年6月発行

編集・発行：社会福祉法人 原村社会福祉協議会
長野県諏訪郡原村6649-3 原村地域福祉センター内

TEL 0266-79-7228 FAX 0266-79-7093

ホームページ



Facebook



<http://www.haramura-syakyou.or.jp/>

社協だより

No.68 令和6年6月

原村社会福祉協議会



安心して
暮らせる
福祉社会の
実現をめざして

- ★ 令和6年度あいさつ
- ★ 令和6年度事業内容と予算
- ★ 令和5年度事業の報告
- ★ おしらせ

原村社会福祉協議会 令和6年度が スタートしました！



令和6年度のあいさつ

原村社会福祉協議会
会長 小林庄三郎

地域の皆様方には、日頃「原村社会福祉協議会」の活動に、ご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まずは、正月に起きた能登地方の大きな地震によって被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。地域の皆様からは、温かいご支援ありがとうございました。引き続き義援金を受け付けておりますので、ご協力をお願い致します。

社協では、令和5年度に「音楽が人と地域をつなぐコミュニティコンサート」を八ヶ岳自然文化園で開き、出演者を含め150名が音楽を通して交流を深めました。原小学校では視覚障がい者との交流と点字体験、原中学校では講演会「聴覚障がい者の生活」の福祉教育を行いました。

本年4月から地域共生のための「重層的支援体制整備事業」がスタートしました。地域の皆様の支援に広い視点で対応できるよう、多機関と連携しながら進めて参ります。

誰でも集える場「おいでなして原宿」もお気軽にご利用ください。原村社協は、介護サービスを始め地域福祉の更なる増進に努めてまいります。

今年度もよろしく願い致します。

令和6年6月

令和6年 能登半島地震 災害義援金

皆さまからお預かりした義援金が、令和6年5月時点で705,014円となりました。温かいご支援、ありがとうございました。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へお届けしました。



原中学校高空学級様

この他、こひつじ幼稚園様、上里区様、ボランティア祭関連団体様からも義援金をお寄せいただきました。ありがとうございました。



原村消費者の会様



原村職員互助会様

令和6年度原村社会福祉協議会の事業 予算総額 117,085,000円

地域住民やボランティア、福祉、介護保険事業者、行政機関との連携を更に充実させ「誰もが住み慣れた地域で、共に支え合い、安心して生活することができる福祉社会の実現」に向けて住民一人ひとりの福祉課題に対応していきます。

介護保険事業



原村 デイサービスセンター

身体機能の維持、向上につとめ、楽しく交流をし、安心して一日を過ごしていただきます。



原村 ホームヘルプサービス

元気なヘルパーが訪問します。安心して暮らせること、笑顔になってもらうことが願いです。



原村社協 居宅介護支援事業所

介護サービスをご利用される皆様、ご家族がいつでも相談できるパートナーです。



福祉輸送サービス

公共交通で移動が困難な方（登録申請制）の安心・安全な移動の支援を行います。

地域活動 支援センター

日々穏やかに過ごせるよう、季節ごとのイベントを大切にします。



災害時住民支え合いマップの更新



地域共生社会に向けての講演会の開催



ボランティア団体等の
コーディネート



福祉教育の推進
(学校・各地区公民館など)



一般介護予防事業
「運動サロンほっこり」

もう一度、考えてみよう 地域の支え合いって何だろう？

開催報告

2月21日(水)、特定非営利活動法人
やじろべー理事長 中澤純一氏による講演と、グループ
ワークの2部構成で開催。約35名が参加しました。



動画を用いた
SOSネットワークの
解説



意見交換の様子



講演では、ケアとは「その人がその人らしく生きるために助けること」とし、支えるには自分事として捉えることが大切、と話されました。

グループワークでは、事前に「高齢者の見守り・SOSネットワーク」について学んだ後、原村らしい地域の見守りについて話し合いました。

参加者は、たとえ認知症になっても「その人自身」を見守ることができる「やさしい原村」になってほしい、と望んでいました。

シニアのための 料理教室

1月26日(金)中央公民館調理室にて開催。22名が参加しました。講師は村保健福祉課健康づくり係 管理栄養士の宮下紫乃香氏。

6グループに分かれて、カブの菜っ葉めし、カブとサバのほっこり煮、塩こうじ鶏ハム、ほうれん草とにんじんの白和え、さつまいものミルクようかんの5品を仲間と一緒に調理しました。



綺麗なお弁当に
仕上がりました

注)管理栄養士の指導の下、感染対策を講じた上で調理を行いました。

人生 あっぱれ! 元気塾 自分に合う 取り組みを みつけよう

開催報告

第3回 活動発表&意見交換会 「子ども達のために 今、できること」

2月1日(木)地域福祉センター多目的ホールにて開催。発表者と参加者、スタッフ含め約40名が参加しました。子ども達のために活動する5団体の活動発表と、発表者と参加者を交えたテーマ別の意見交換会の2部構成で行いました。

5団体の皆さん、
素晴らしい活動を
ありがとう



ナビゲーター 林美代子氏
(種まきする八ヶ岳ママの会)



テーマ1 遊ぶ

月1回、森のある場所で野外活動を企画。原体験を通して未来へバトンを。岩崎公彦氏(八ヶ岳原村自然遊学校)



テーマ2 食べる

第1・2・3金曜日、17:00-19:00 パ Pagerナラウンジにて子ども0円の子ども食堂を始めた。小倉佳美氏(はらぺこさん)



テーマ3 学ぶ

5・6年生の算数のつまづきを解消するために、週2回程度中央公民館で活動。放課後の居場所の一端に。樋川善史氏(原村数学研究会)



テーマ4 つながる

原村版のUber Eatsを作って産後直後など困っている人へ飲食店のお弁当を届けたい。(現在、仕組み作り中)石井多賀子氏(HARAいっぱいプロジェクト)



テーマ5 手伝う

2010年から夏の風物詩「星空の映画祭」を復活。ちびっこ実行委員会が活躍して、地域・大人・仕事とつながっている。堀之内通子氏(星空の映画祭実行委員会)

第3回 原村ご近助キャラバン むすぶつながるひろげる 8000人のご近助の輪

3月8日(金)地域福祉センター多目的ホールにて、地域住民を対象に開催。約40名が参加しました。

村からの事業概要の説明や、「身近なご近助」について2団体、1グループのパネリストが登壇し、身近な助け合いの大切さに理解を深めました。



令和5年度 『おいでなしてボランティア祭』

開催報告

3月16日(土)地域福祉センターにて開催。
大勢の方にご来場いただき、
ありがとうございました。



富士見太鼓のオープニング



森の工作
by エコラ倶楽部



ちくちくぺたぺた
ワークショップ
byいきいき原村
農業塾



おいでなしてボランティア祭
おいでなしてボランティア祭実行委員会



クイズラリー



日赤奉仕団による
段ボールベッド
実演



昔の遊びコーナー



八ヶ岳尺八クラブ
演奏

ふみてあて
体験



ハラッピダンス
INYOU村



みんなで
ドラムサークル

地域活動支援センター 音楽レクリエーション

地域の音楽愛好家を招き、茶話会を含めた交流をしました。地活のメンバーに馴染みのある曲を生演奏で歌ったり、ドラムサークル体験をしました。



ひいちゃん
みいちゃん
もぐさん

デイサービスセンター お花見

春らしい陽気の中、利用者の皆様とお花見を楽しみました。

桜の木の下で
はいポーズ



満開の桜
きれいだね〜

一般介護予防事業

『運動サロンほっこり』 始まりました



理学療法士2名が1週ごと交替で、身体機能を維持するプログラムを指導しています。
今年度から体操だけではなく、地域の方とつながるレクリエーションも行っています。



簡易ルールでポッチャ体験



地域包括支援センターの皆さんによる講座

4月23日には、3種類の機能評価を実施しました。
同じ項目を半年後にも測定することで、自身の身体機能アップにつなげます。

機能評価



加速・減速部分を含む
5m歩行の速度の計測



握力測定



10回の
立ち座りに
かかる時間の
計測

